新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～８月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

がっこうのうらのみずたまりに、そらやきやおうちがうつっていた。ふしぎだな。（１年女子）

みずをいれたコップにこおりをいれた。みみをすましたら、シャラシャラと、おとがした。（１年女子）

ひじおりにいったとき、かわのいろがちゃいろだった。コーヒーがいっぱいながれているようで、びっくりした。（１年男子）

ほかほかのたこやきにのせたかつおぶしが、生きているようにおどっていた。おもしろかった。（２年男子）

ミニトマトに水をやったらゴクゴクと音がした。人間が水をのんでいるようでふしぎだった。（２年女子）

おかあさんの実家に行ったとき、空気がしぜんのにおいがした。さわやかな風がきもちよかった。（２年女子）

しゃぼんだまが、たいようのひかりにあたって、にじいろになった。きれいだった。（１年女子）

夕日が海にしずんで、空がオレンジ色になった。とてもきれいだった。（２年男子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第２号　R2.9.1